

南河原小・南河原中の学校区に関する説明会 会議録

- 1 開催日時 令和3年9月17日（金）午後6時00分～6時30分
- 2 開催場所 南河原コミュニティセンター
- 3 出席者 17名
- 4 教育委員会 齋藤教育長
 学校教育部 吉田部長、安藤次長
 教育総務課 長島課長、上野主幹、久積主査、田沼
 南河原小 高野校長
 南河原中 加藤校長

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
齋藤教育長	2 あいさつ
長島課長	3 内容 （1）南河原小・南河原中の学校区について ・資料を基に説明
高野校長	（2）南河原小・南河原中における取組について ・5年生の林間学校を一緒に行く計画をしており、準備段階から一緒に活動をしている。 ・今後、3年、4年の校外学習も一緒に行きたいと考えている。 ・職員や児童の紹介ビデオを作成し、北河原小に見てもらった。
加藤校長	・既に北河原小学区から通っている生徒がいるので大きく変わらないと思う。小学校と中学校は、地区に関わらず仲良くやっている。 ・合同挨拶運動では、南河原小と北河原小に生徒が行っている。 ・小中の連携を行っていたが、コロナで最近はできなくなった。落ち着いたら進めていきたい。
出席者	4 質疑 資料に令和4年度の児童生徒数の予測がある。小1から中1は記載されているが、中2、中3の生徒数はどうなるのか。
加藤校長	令和4年度に中2になる現在の中1は27人いて、中3になる現在の中2は32人いる。北河原小出身者は現在の中1にはいないが、現在の

<p>長島課長</p>	<p>中2には数人いる。</p> <p>現在見沼中に通学している生徒も通学区は南河原中になるので、希望があれば南河原中に通学することは可能だが、南河原中に来たいという話は聞いていない。</p>
<p>出席者</p>	<p>どこの学校へ行くのも自由と聞いている。せっかく北河原小と南河原小が一緒になるのだから、地域の学校へ通うように決まりを変更してもらうことはできないか。</p>
<p>長島課長</p>	<p>基本的には指定校に通っていただくのだが、義務教育学校が白紙になったこと、地域に学校がなくなってしまうことから北河原地区と須加地区については、当面の間は指定校変更をすることができるとしている。何人かの保護者は、別の学校に行きたいという希望がある。それを受け入れる形で進めているが、教育委員会の計画通りに進んでいる所は1つの学校にまとまってもらうようにと説明をしている。</p>
<p>出席者</p>	<p>スクールバスについて、距離で決まるのか。</p>
<p>長島課長</p>	<p>学校がなくなることで遠距離通学になる人を対象とする。まずは北河原地区の方で概ね2km以上を対象に協議を進めていこうと考えている。馬見塚なども距離が遠いと思うが、学校が1つになった後の課題とし、スタートの時点ではそのようにしたい。</p>
<p>出席者</p>	<p>小中一貫教育は一般的に知れ渡っていない。推進していくのか。</p>
<p>長島課長</p>	<p>本市も小中一貫教育の計画を持っていて、取り組んでいる。具体的に言うと、南河原小・中は施設が分離している形で取り組みを進めている。市全体として推進する方針となる。</p>
<p>出席者</p>	<p>当初、南河原では来年度から実施するという話があったと思うが、先送りになるのか。</p>
<p>安藤次長</p>	<p>平成31年度に小中一貫教育の基本方針を定めた。それを基に市内各校が準備を進めている。南河原小・中は令和元年度に研究発表を行った。南河原小・中の交流を通しながら、施設分離型の小中一貫教育が現在も進行中となっている。</p>

出席者	一般住民は知らない人が多い。広報した方がいい。
司会	5 閉会